

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	「ペルオキシソーム病・ライソソーム病で蓄積する異常脂質の構造と代謝に関する解析」
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
研究対象者：新潟大学脳研究所病理学分野における病理組織学的検索により副腎白質ジストロフィー(ALD)と診断がなされた患者さん、もしくは脳に異常はありませんと診断された患者さんで、計 8 名です。したがって、下記の期間に本研究の対象となる患者さんのご遺族で、死体解剖保存法に則った病理解剖時に、診断を確定するとともに病気解明のための医学研究を行うことを説明され、文章で同意いただいている方が本研究の対象です。 対象期間：2005 年 1 月 1 日から現在まで	
③概要	
副腎白質ジストロフィー(ALD)は、脂質代謝異常によって中枢神経系異常を進行性に発症する遺伝性の病気です。しかし、治療薬などの開発に必要な、「その異常がどのように病気を引き起こすのか」について未だに解明されていませんでした。解明を阻んでいた、従来困難であった脂質代謝を網羅的に解析研究するための技術が開発されたことから、それを用いて、解剖時に同意いただき取得した試料・情報をもとに解析し病気の原因の解明をしていくことを目的とします。	
④申請番号	2025-0116
⑤研究の目的・意義	副腎白質ジストロフィー(ALD)の病気の原因を明らかにすることを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から西暦 2030 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織（凍結保存脳組織並びにホルマリン固定後パラフィン包埋組織の未染色標本）および付随する患者さんの情報（年齢、性別、疾患名・罹病期間）を共同研究先に提供します。新潟大学脳研究所から共同研究先に試料を送る際には特定の個人を特定することができないようにした状態で提供し、対応表は提供しません。共同研究を行っている帝京大学薬学部 物理薬剤学研究室において高速液体クロマトグラフ質量分析装置(LC-MS)という手法を用いて各種の異常脂質を一斉に網羅的解析を行います
⑧利用または提供する 情報の項目	年齢、性別、疾患名、罹病期間
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。

	新潟大学脳研究所病理学分野 柿田 明美 新潟大学脳研究所病理学分野 井上 穰 共同研究機関： 帝京大学薬学部 物理薬剤学研究室 横山 和明 帝京大学薬学部 物理薬剤学研究室 濱 弘太郎 帝京大学薬学部 物理薬剤学研究室 藤原 優子
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学脳研究所病理学分野 氏名：柿田 明美 Tel：025-227-0633 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp